

平成20年9月13日

ルール・審判委員会 委員長 長谷川 敦司

ルール変更について

1. 国際卓球連盟 (ITTF) は 2008 年 2 月 27 日開催の ITTF 総会において揮発性有機溶剤 (VOC) を含む接着剤等、及び公認されたラバーの後加工を禁止するとしていましたが、2008 年 9 月 1 日から施行するルール (国際 2.4.7) として、8 月 15 日付けで国際卓球連盟のホームページに掲載しました。

以下に ITTF 用具委員会委員長オッド・グスタフセン氏からの通知文 (和訳) を掲載致します。

背景

広州で決定された基本ルール 2.4.7. は 2008 年 9 月 1 日より実施する。

(国際 2.4.7)

ラケット本体を覆うラバーは、ITTF 公認後、その摩擦特性、外見、色、構造、表面等の競技性能に物理的、化学的にその他の処理による変化、修正をしてはならない。

これは、接着補助剤 (ブースター) (チューナー、強化剤、改良剤など) の使用を完全に禁止することを意味する。

接着補助剤の使用目的は、従来何かを変えるか、何かを変えようとすることにある。それ故、害がないとか、ITTF で公認されるべきだとか、VC (揮発性化合物) は含まれていないとか主張する者もいるが、それが正しいと信じる理由 (根拠) はほとんどない。

皆さんにはこの接着補助剤に対して懐疑的になって頂きたい。と言うのは、これは一般的に健康に悪い物であり、中には毒物 (poison) を含んでいることもある。

我々のテストによれば、補助剤はスポンジだけに通常塗って使われるが、ラバー本体からスポンジだけが分離した形で影響を受けるわけではない。(検査の際、接着補助剤がスポンジについている場合には、ラバーからスポンジだけを取って検査をすることが出来ない物もある。)

接着補助剤の使用は、手が汚れ時間やコストがかかり、不健康で、今ではスピンやスピードを得るための方法としては違法であり、大会の検査では違反としての赤ランプが出るかもしれない。

スピンやスピードの追求のためには、別のもっと良い方法がある。

注意点

選手には、クリーンなラケットを使用する責任があり、これは (VC) 揮発性化合物を含まない正しい厚みのラバーで覆われたラケットを使用する責任があります。

新しいラバーは、接着剤でラケットに貼る前に少なくとも 72 時間はビニールパッケージから外に出して空気にさらしてください。水を主成分とする接着剤が PSA シート (感圧シート) しか使用することができません。選手は常にスペアラケットを持つようにしてください。

VC (揮発性化合物) のテストは大会で Enez を使って行います。

この装置は、極微量の溶剤も検出することができ、溶剤が多過ぎる場合には赤ランプが点灯します。更に、接着補助剤に対してより敏感な新しいバージョンの機器が投入される予定です。大会によっては、より感度のよいRAEと呼ばれるバックアップ装置もあります。

厚さの上限(4.00 mm)検査は、より正確に測定できる機器が利用できるため、以前よりも厳しくなるでしょう。

ITTF テクニカル・リーフレットのT-4には、ラバーの厚みの限度に関して次のように述べてあります。すなわち、「ラケットを覆うラバーの打球面のいかなる部分においても4.00ミリを超えてはならない。」クリーンなスポーツの為に我々は皆仕事をしているので、皆さんには今まで以上にゲームを楽しんで頂けることを願っています。 [以上和訳]

2. 日本卓球協会(JTTA)の決定

日本卓球協会は、国際卓球連盟からのルール改定通知を受け、2008年10月1日以降に開催される全ての大会において、新に、本会未公認ではありましたが、ITTF用具委員会から指摘を受けた接着補助剤(ブースター)についても使用を一切禁止とします。

尚、Enezを用いた検査は従来通り実施します。競技者は事前にEnezによるボランテアラケット検査を受け、赤ランプが点灯した場合にはそのラケットは使用出来ません。審判長や関係者の指導を受け、試合ではグリーンランプが点灯する(した)ラケットを使用して下さい。

3. 上記ルールの実施にあたり、競技者は再度以下の点に留意して下さい。

- 1) 新しいラバーを使用する場合、包装材からラバーを取り出し、ラバーに残っているかも知れない揮発性のある有機溶剤(VOC)を除去するために、72時間以上、空気にふれさせた後に、ラケットにラバーを接着させて下さい。
- 2) ラバーを接着させた後、ラケットケース等密閉した容器にラケットを連続して長時間入れていた場合は、その時間と同程度の時間、ラケットをその容器から外に出してから、プレーに臨んで下さい。
- 3) 競技者は予めスペアラケットを必ず用意し不測の事態に備えるようにして下さい。

以 上